

『小さなことから第一歩』

多久市立東原庁舎西溪校 9年 山北 美来

「おはよう、いってきます、ただいま、おやすみ」

家族で何気なく行う挨拶。みなさんはこの何気ない挨拶を家族みんなとしていますか。

家族であいさつをするか、しないかは各家庭で分かれると思います。また、家族内で挨拶をするべきだと思う人と、別にしなくてもいいんじゃないかと考える人と、考え方も人それぞれだと思います。私も中学生に入るまではなぜ家族内でも挨拶をしなくちゃいけないんだろうと思っていました。ですが、今は家族内でこそ挨拶が大事だと思っています。なぜ私が家族内で挨拶が大事だと思ったか話したいと思います。

私は中学生にはいるまではお父さんとお母さんとあまり喧嘩をしていませんでした。しかし、中学生に入って、頻繁にお父さんやお母さんと喧嘩をするようになりました。その度に挨拶や会話をしなくなっていました。最初は何とも思っていなかったけど、学校の道德の授業で「家族と交わす挨拶」について学習し、それから家族との挨拶や会話を意識するようになりました。道德の授業を受けた後から、お父さんやお母さんと喧嘩をして挨拶や会話をしなくなると、毎日がつまらないし、ずっとモヤモヤしていて、その時始めてこんなにも挨拶って大事で、いつもの何気ない毎日に必要なものなんだと思いました。そして、挨拶はとても大きな力を持っているなと思いました。そこで、私は「挨拶ってなんでこんなに大きな力を持っていて、こんなに必要なものなんだろう。」と思いました。

まず、挨拶って何のためにあるのでしょうか。この答えは人それぞれだと思

います。私は、コミュニケーションを取るため、相手の今の気分や調子を察するため、挨拶をすることで会話を増やせる、などの良いことがあるから挨拶があるのだと私は思います。だから挨拶は、必要で大きな力を持っているんだと思いました。だから、私は家族内でも挨拶は大事だと思います。もちろん、家族内だけではなく、地域の人や友達との挨拶も大事です。

でも、朝一番に「おはよう」と挨拶をするのは家族のみんななので、家族との挨拶によってその日の調子が決まると思います。だから、私は家族のみんなとの挨拶や会話をこれからも大事にしていこうと思いました。

私は、「挨拶」は犯罪をなくすためにもつながると思います。なぜなら犯罪者は大体の人が挨拶をしたがりません。だから、どんな人も挨拶をして、挨拶が広がる世の中になったら犯罪者が生きにくい世界になり、犯罪がなくなって社会が明るくなると思います。そのためにも、私は挨拶をこれからもずっと怠らせずに、例え、知らない人でも挨拶をしていきたいです。

私には尊敬している人がいます。その人は毎朝、朝早くから私たちの登校を見守ってくれているおじいちゃんです。なぜ、私が尊敬しているのかというと、登校してきた私たちだけではなく、通る車一台一台に「おはようございます」と大きな声で挨拶をしているからです。中には挨拶を返さない人もいます。でも、おじいちゃんは絶対にやめません。例え、雨の日でもかっぱを着て朝早くから挨拶をしています。

私は、「すごいな、かっこいいな」と思います。そんな人が増えると犯罪が少しでも減り、社会が明るくなると思います。

今の私は、このようなことを思うだけで、何も行動にうつせていません。

まずは、朝、起きて家族のみんなに「おはよう」を言い、学校に行く時は元気

に「いってきます」と言えるようになりたいです。そして、教室に入って友達や先生の人にも元気に「おはよう」と言い、楽しい一日のスタートをきれうようになりたいです。

小さなことから前へ第一歩進んでいけるように頑張りたいです。犯罪のない、明るい社会を願っています。